

-----3月8日-----

## 今週のアウトルック(3/8～3/12)

先週は前半、徐々に円高が進むような展開となりましたが、後半は金曜日の米国雇用統計を睨んだ展開で売り買いが交錯し、発表後は一転して一気に円安が進みました。今週はこの展開がどこまで続くかが焦点となりそうです。

ドル円は88円の壁を破ることができず、金曜日の米国雇用統計発表後は90円台まで戻されています。この傾向が月曜日の東京市場でも継続できるかが焦点となりそうですが、継続する可能性が少し高いように思います。全般的に円の買われすぎ傾向がこのところ強く、反発のタイミングを待っていたかのようにも思います。3月の円高が88円で終わったかどうかは、まだ判断しかねますが、一度93円、あるいは3月のボラティリティから考えて97円あたりまで戻してしまう可能性もあるように思います。

予想レンジは90円から93円です。

ユーロ円もユーロの売られすぎ傾向が強く、反発のタイミングを待っていたようです。ギリシャ問題がある程度終止符を打てるかどうかは別問題として、ユーロに対して大きなネガティブな要素が新たに出てこなければ、一度125円、場合によっては130円あたりまで反発する可能性が強いように思います。

予想レンジは122円から125円です。

ポンド円はかなりショートポジションが溜まっていたため、一度反発し出すと勢いに乗ってしまう可能性もあるように思います。アイスランドの預金決議も気になりますが、一度135円から140円あたりまで戻してもおかしくないように思います。

今週は先週金曜日の雇用統計の結果を受けて、円安がもう一段進むようだとしばらく円安が続く可能性が高くなるように思います。トレンドを見極めるうえで重要な一週間となりそうです。

### \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。